



ITサポートレター



ITサポートのなかまたちが
記事を作成しています

TEL:098-961-6715 / FAX:098-961-6716 営業時間:9:00~17:00 定休日:土・日・祝祭日

コロナ対策

テレワークを事業所規模で実施!



4月13日月曜日より、新型コロナウイルス緊急事態宣言にともない全スタッフでのテレワークを実施しました。

事前に各スタッフの自宅ネット環境を確認し、環境が十分でないスタッフにはモバイル回線を貸し出ししたり、事業所のPCやオンライン会議ができるようにWebカメラを全員へ貸与し、事業所と安全なデータがやりとりできるように設定するなど、迅速にテレワーク対応を行いました。

オンライン会議にはMicrosoft Teamsを活用。ネット回線が遅い・つながらない等一時的なトラブルはありましたが、おおむねA型スタッフのテレワーク作業は良好に進行しました。感染対策の為とはいえ、事業所にとっては良い経験になったのではないのでしょうか。以下はA型スタッフの体験記です。



回線を使用して作業を行いましたが、ファイル読込・保存に時間がかかる…などの問題があり、最初の1週間は作業が滞ることも多々ありました。ネットワーク環境の重要性を実感しました。もう一つは自己管理能力です。職場だと自然と緊張感も出て気が引き締まりますが、自分一人だと気が緩みがちになり、その状態で仕事をするのは簡単なようで意外と難しいことを実感しました。

新垣▶今回、私が重要だと感じたものが2つあります。

まずはネットワーク環境です。自宅では固定回線ではなくモバイル

又吉▶私は普段からテレワークをしていますので、今回はみんなも同じように仕事を行っていると思うと安心できました。いつもと変わらない日常だと思っていましたが、新型コロナウイルスの影響で学校が休みで自宅にいる姪っ子が定期的に仕事現場に乱入し、何してるの?の質問攻め。ある意味、乱入は休憩する良い機会になりました(笑)

摩文▶個人的にはオンライン会議(朝礼、終礼)は少なくとも良かったようにも思う。作業やタスクに集中しやすいほうが生産的な環境を作れると思うからだ。自分は落ち着いた環境でよりパフォーマンスを発揮するため、オンライン会議は最重要事項のみにしたほうがいいと思った。

板山▶ネットが初日で繋がらないトラブルがありましたが、あとは大丈夫でした。集中して仕事をしていると事業所からのチャット連絡や携帯LINEの音にも気付きにくくなります。普段だとその場で声をかけられて気付きますが、テレワークでは一人なので気をつけないといけませんでした。

名城▶良かった点の1番目は通勤時間が無いこと。自分の時間が1~2時間ぐらいい増えたので、睡眠時間や趣味にあてる時間も取れました。2番目は体調が悪い時に休み休みできること。通常なら休むような状態でも案外作業できたことがありました。3番目は好きな音楽を流したりしてリラックスできたこと。集中して仕事ができる気がします。

悪かった点はネット通信回線が悪い時は仕事にならないこと。テレワークは最初は不安でしたが、慣れると案外快適でした。

真喜屋▶良かった点は、①出勤が無いので朝はゆっくり②遠距離なのでガソリン代が節約できた③一人なので集中しやすかった④(オンライン会議は全身を映す必要がないので)身なりにあまり気を遣わないでよい⑤帰宅ラッシュを体験しないので早めに夕食の買い物ができました。

悪かった点は、①モバイル回線を事業所から借りていたが回線スピードが遅かったため無駄な時間を結構過ごした②自宅での作業のため、電気・水道などの光熱費がかかる③事業所からしたら「ちゃんと仕事をしているだろうか?」という目に見えないプレッシャーがありました。そのため結果を残さないと信頼関係が生まれなれないと思い、逆にプレッシャーを感じてしまいました。



就労移行のテレワーク体験記

糸数▷若干Zoomの扱いにてこずりましたが小生にとっては快適でした。小生は(午前中は作業、午後以降プライベートなどと)スケジュールを週間・日単位で立てながらうまく過ごせたなあと思います。ただ、今回ノートPCを使って訓練をしましたが、ノートの画面は小さくて作業効率が悪く、上手く進みませんでした。実際仕事としてテレワークをするとなると大きな画面が必要だと思いました。

洗太郎▷初めてのテレワークを1カ月程体験したのですが最初は焦りましたが、就労移行メンバー全員が入っているLINEグループで支援員の方に質問をして、遠隔操作で助けてもらったので安心しました。この体験で在宅で働くことのイメージをすることができました。少し不便だと思ったことは質問をすることです。通所の時は近くにいる支援員に気軽に質問することができますが、在宅では文字にするので質問しづらいなと思いました。いいなと思ったことは、Zoomを使って朝礼をしたことです。皆さんの顔を見たり話を聞いたりすることができたので、少し安心感がありました。

鈴太郎▷よかったことは、自ら5分間の休憩をしたり、自分で「今日はここまでやろう」と目標を立てながら作業に取り組むこ

とができたことです。わからないことがあったらLINEを使って質問をすることができました。LINEで朝と昼の体温の連絡等をして、途中からZoomを使って朝礼・終礼も行うことができたのでよかったです。デメリットは、質問が気軽にしにくかったことです。



Zoomでの朝礼の様子

友寄▷僕らが小さい頃マンガや小説で見ていた世界が現実になってきています。今、時代の先端を行っているようで誇らしく思いました。良かった点はPCで顔を見ながら会話ができる事。疑問に思う点としては仕事で細かい打ち合わせができるかどうか。またビデオ会議だと、自分の自宅の様子がカメラに映ってしまうのがちょっと懸念かな？

宍▷自宅では思っていたより早く作業が進みました。iPadでZoomを使い、皆の顔を見ながら朝礼や終礼ができたことはよかったです。分からない所を遠隔操作で支援員が操作して説明してくれてありがたかったです。最初は生活が不規則になって睡眠のリズムが変わったこともありました。



支援スタッフのテレワーク体験記



ビデオチャットでスタッフに連絡

ビデオチャットでスタッフに連絡したり、利用者の困り感をすぐにキャッチできないことなど難しい点もありました。テレワークの体験ができたことで「働く」の幅が出てきたのではないのでしょうか。テレワークに向いている方や向かない方の支援方法の確立もたいへんでした。

上原▷朝礼・終礼をZoomやMicrosoft Teamsアプリを使ったり、指示はチャットやLINEを使って行いました。支援員も含め皆が初めてのことでお互いに多少なりともストレスを感じていたと思います。特に就労移行の方は日頃からLINEでの指示や質問に慣れていないため、一人一人に合ったやり方で対応する難しさがありました。

小倉▷私自身もテレワークを体験しましたが、しっくりきませんでした。毎朝行う支援員の申し送り会議ではカメラ越しだと不思議な気分(寂しさ?)を感じました。私は同じ空間にいて

会話できる方がいいというのが実感です。テレワークができる環境や業種、または個人の向き不向きなどの条件があるということ。一方、重度障がい者の方など通勤が難しい方にはとても可能性を秘めた働き方だと思いました。

石川▷自宅のテレワーク環境は揃っていましたが、残念ながら私のMacからは(会議とかは問題ないですが)業務用ファイルなどへの接続がうまくいきませんでした。自宅と事業所間の回線スピードも遅かったので、カメラをオフにして不要な通信を避けるなどの工夫が必要でした。

砂川▷私は通信インフラやPC環境などの管理をしているため、短い期間でたくさんの事を決めたり整備する必要がありました。テレワーク自体はすでに何名か実施していたので手法に大きな変更はありませんでしたが、PC・Webカメラ・イヤホンマイク等必要数の確保、ネットがない環境の対応、セキュリティ、オンライン会議やソフトの使い方・運用ルールの周知徹底など見切り発車でスタートしたため、テレワーク初日は怒涛の忙しさでした。日頃からチャットを活用していたA型は、テレワークへ移行してもほとんど混乱が見られなかったのは驚きでした。